

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0316
施設名	かすみ台第一保育園
施設所在地	東京都青梅市大門2-253
法人名	社会福祉法人かすみ福祉会

### 1.活動のテーマ

〈テーマ〉

水、光、音

〈テーマの設定理由〉

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

夏、ミストシャワーで遊んでいるときに「冷たい」「水だ」「雨みたい」「気持ちいい」と感触を楽しんだりイメージを広げて楽しむ姿が見られた。夏の遊びである水遊びを楽しみながら、発見したり不思議がったりする経験ができると良いと考え水をテーマにした活動を行うこととした。

### 2.活動スケジュール

段階①

- ・ミストシャワーで水の感触、冷たさ、気持ち良さを感じる。(温度、水とお湯の違い)
- ・ミストシャワーで、時々見える虹を見る。(水と太陽の光)
- ・タライの水に張った水面の水を見る。(水と太陽の光)
- ・水を入れたペットボトルを地面に置き、地面にうつるゆらめきを見る。(水と太陽の光)
- ・ペットボトルの蓋を浮かべる。(浮くものと沈むものがあることを知る)
- ・「水」の手作り図鑑(写真)を作り、図鑑を見ながらのやりとりの中で、戸外での遊びを室内でも思い出したり、楽しかったことを友達や保育士と共有できるようにする。

・段階②

- ・サイズの違うカップで水の移し替え。(量の違いを知る)
- ・ビニール袋に水を入れて重さを感じる。(重さを知る)
- ・水を含んだスポンジを握って絞る。(力加減を知る)

段階③

- ・日向と日陰に置いたタライの水の温度差を知る。(水と太陽の熱)
- ・氷を入れ温度の変化を感じたり、氷がなくなっていく様子を見る。  
(温度差を感じる。形を変えた水(氷)がまた水になっていくのを見て感じる)

段階④

- ・水琴窟の音を聞き、音に興味を持つ。(水の音を知り、楽しむ)
- ・リグノなど音が出る玩具で音探しを楽しむ。(色々な音を知り、楽しむ) ※遊びの様子を見ながら段階を進めて行く。

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・タープ ・タライ ・各種ペットボトル、カップ ・スポンジ ・氷 ・テーブル ・リグノ
- ・水琴窟(植木鉢2個、スポンジ、空き缶、収納バスケットのふた、お猪口4個、おけ←洗面器に変更、砂、砂利石、茶こし)

#### 4.探求活動の実践

##### 〈活動の内容〉

- ・手作り図鑑で色々な水の形や光を知る。(氷、虹、雪、光る水面、雪の結晶など)
- ・タライの水面が光る様子や、水を入れたペットボトルに太陽があたり地面にうつる光の様子を見る。
- ・サイズの違うカップでの移し替えて、量の違いや重さの違いを知る。
- ・芝生広場に日除けを設置することで、日向と日陰の水、氷を入れた水を触り温度の違いを感じる。
- ・水琴窟を作り、水が出す音を聞く。
- ・リグノなど音が出る玩具での音探しをする。

##### 〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り〉

##### (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・タライの水面が光ったり、水を入れたペットボトルに太陽があたり地面が光ったりなど、自分で気づいたり発見したりすることは難しかったが、保育士の声掛けで気づくと興味を示してよく見たり触ろうとしたりしていた。
  - ・大ききの違うカップでの移し替えて量の違いを知る、というのは少し難しかったようで、カップがいっぱいになってこぼれた時などに「なんでこぼれちゃうんだろうね」などと声を掛けてみたが、移し替える楽しさの方が魅力的で保育士の声掛けに反応はなかった。
  - ・水がちょろちょろと流れ落ちる静かな音や、芝生にできた水溜まりに足を踏み入れて聞こえる音、ホースからこぼれ落ちる豪快な水の音…と色々な音のの違いも楽しんだ。「ぼちゅん」と水の音を再現して言う子もいた。
  - ・氷を入れたタライの水の冷たさはすぐに感じ「冷たい！」と言葉にしていた。
  - ・スポンジが水に浮かぶのを発見したり、一度絞ったスポンジからは水が出ないことを不思議がったり、水の中でスポンジを握ると泡がプクプク出るのが発見したりなど、保育士が予想しなかった子どもの気づきも多くあった。
  - ・水琴窟は思ったように作れず雨漏りのような音の中に時々金属的な音がする程度となったが、興味を持って聞く姿が見られた。
- 水琴窟の音を楽しむ中で室内遊びでも音探しをしたり、音を楽しむ姿が増え、リグノでの遊びへとつながっていった。円柱の積み木を落とす時に周りの子に「し〜だよ」と静かにするようお願い、独特な心地良い音を友達と一緒に聞くことに楽しんでいった。



#### 5.振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・取り組む時期がよく子どもが色々なことを感じ習得できた。(梅雨…雨、台風、水の図鑑) (梅雨明け…陽射し、光) (夏…暑さ、氷) (夏の終わり…それぞれの体験からおもちゃ遊びへの充実)
- 子どもが感じた不思議に共感して楽しむことで、子どもが自ら不思議なことを発見しようと色々試し、より意欲的な姿が見られた。
- ・光を通して影に興味を示す子もいた。
  - ・陽射しがあたる床や砂が温かいことに気づく等、取り組みによって得た経験から子ども自身の気づきや発見に繋がっていると感じた。